

特集

地域で支える 精神障害者の暮らし 法改正と新たな指針を受けて

精神障がいのある人の生活を支えるために 天野和子
「精神障害者に対する医療を確保するための指針」の
ポイントと、それを具体化するための方策 尾崎美弥子
新たな時代の精神科病院と地域保健福祉行政の
連携の可能性 柳尚夫

保健所における退院支援活動の取り組み
精神障害者を地域で支えるために 渡辺倫子

障害をもつ人と地域住民が「共に生きる町づくり」を
実現するために 長野敏宏

精神障がい者が街で生活するための支援
出雲市とふあっとの取り組み 矢田朱美

連載

もう一度学ぶ「状況設定問題」 鈴木みちえ

ナカイタ発 保健師へのつづやき 中板育美

新しい健康日本 21 の取り組み事例 小林俊博／尾島俊之

姫井先生と考える 健康に生き抜くためのヒント 姫井昭男

「困りごと」から考える

地域づくり型保健活動の考え方と進め方 岩永俊博

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●その時は突然やってきた。地震というものはいつもそうなのだが、その時は、気がついた時には回りが揺れていて、窓から見た道路の向かいのビルが斜めに見えた。●あれから3年、福島で活動している保健師の方々のお話を伺ったが、「3・11」もフクシマも、まだ決して終わってはいないと思った。誰が何と言おうとも。

(杉之尾)

●私は20年近く前に神戸で震災を経験しました。赤い空から灰が降る光景を忘れることはないでしょう。●復興を象徴するゆるキャラは何体か存在しますが、兵庫県のはばタン、福島のキビタンを挙げてみます。はばタンは(ああ見えて)不死鳥、キビタンは(ああ見えて)キビタキと、どちらも復興へ向けて羽ばたく鳥を模しています。地面の出来事を空の象徴に託す、というのも興味深いです。

(平田)

●特集の座談会を収録した日は、偶然にも震災発生から1000日目でした。3名の保健師の方から語られた内容以上に、その後ろに隠れたたくさんの語れないことの存在も感じました。今後のつながりのなかでその重みを少しでも分かち合えたらと思います。(伊藤)

保健師ジャーナル 第70巻3号 2014年3月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan

1部定価本体1,400円＋税

2014年年間購読料(税込、送料弊社負担)：冊子版15,280円 冊子＋電子版/個人18,280円 冊子＋電子版/共有20,600円

電子版/個人15,280円 電子版/共有17,600円

※上記は2014年3月末までにご注文いただいた場合の年間購読料です(2014年3月ご購入開始分まで適用)。

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：平田／杉之尾／伊藤
Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。